

森林インストラクターの森活動報告(枝打ち・間伐作業)

活動日：2022年10月23日(日)

参加者：5名(横山、芳野、星野、藤井、田崎)

報告者：田崎泰生

最高気温 25 度ほどで好天にも恵まれ、秋の里山にはススキの穂がなびいていました。

ときがわ町せせらぎホールのパーキングに集合した参加者は、車1台に乗り換えて、森林インストラクターの森に移動しました。森の斜面では、落葉広葉樹のカツラの黄葉と、スギやヒノキの針葉樹の緑の対比を楽しみました。森の中では、秋の味覚キノコ「なめこ」が、ほだ木に大量に発生していました。大きいサイズは参加者で収穫しました。小さいものはこれからです。ここ一二週間で生長のピークです。会員の方は観察がてら「キノコ狩り」に来てみてはいかがでしょうか。また「埼玉森林インストラクター会のロゴ入り」新ヘルメットをかぶり、記念撮影もしました。

活動内容を以下に報告します。

《活動前の森づくり勉強会の項目》

講師：横山 功

- ① 間伐の目的。
- ② 間伐の種類、方法・間伐する木の選び方・間伐に最適な時期は。
- ③ 枝打ちとは・枝打ちを行う時期・枝打ちの方法。
- ④ 安全な伐採造林作業について。

《枝打ち・間伐・枝払い・玉切り 作業》

植林した15年生ほどのヒノキの枝打ちと、伐採木(幹が曲がったり、二股など材木にならない木)を2本選定し間伐を行った。

《きのこの観察》

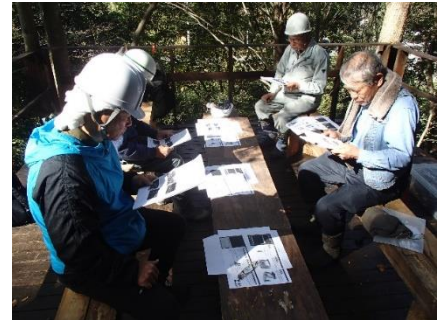
植菌して3年ほどのヒノキのほだ木に「なめこ」が観察された。

《新ヘルメットの購入》

森づくり活動に使用する「埼玉森林インストラクター会のロゴ入り」ヘルメットを20個購入しました。

以上

勉強会



枝打ち



間伐体験



なめこ



新しいヘルメット

